

委託事業実施内容報告書

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 SIL 札幌日本語学校

1. 事業名称

北海道における日本語教育推進プロジェクト — 地域多文化共生を目指して2013

2. 事業の目的

当校の過去4年にわたる文化庁委託事業の継続性という観点から、今年度も外国人生活者がより地域に根差せるよう、一層、質の高い生活環境にて生活ができるよう、日本語教育推進プロジェクトを行う。語学としての日本語のみならず、異常気象による災害とそれによって引き起こされる二次災害、又冬期に流行するウイルス性感冒罹患時に対処できるような内容を盛り込んだ日本語教室、日本語指導人材育成、日本語教材作成などを通じて、外国人の自助の手助けをする。彼らが日本社会を理解し、より容易に地域に溶け込む素地を作ることが、多文化共生社会の実現、ひいては日本人にとっても暮らしやすい社会の実現につながると思われる。

3. 事業内容の概要

今年度の当団体の講座のキーワードは健康と地域活動参加である。「日本語教室の設置・運営」では札幌会場で親子で日本語を学ぶ教室を開催するが、子供には主に生活の日本語(マナーとその日本語など)を指導する。親世代には、防災の知識・防災の日本語も教える予定で、今回の事業の取り組みの一つである「健康安全と地域活動」も盛り込んで、基礎日本語を指導。「日本語教育を行う人材の養成・研修の実施」においても、これらの知識や言葉を教える場合にどのような方法で教えるかをも考慮に入れて、実際に研修をしていった。それらの教材となるものを「日本語教育のための学習教材の作成」取組で実施した。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年6月22日10:00~15:00	5時間	SIL	中川和子、島治美、木本みゆき、林真知子、Petia 佐々木、遠山 樹彦	今年度の取り組みの検討	取り組みの場所、日程、対象者、内容、状況を確認。
2	平成25年9月21日12:00~16:00	4時間	札幌国際交流プラザ	中川和子、島治美、木本みゆき、外山静江、西山順子、林真知子	・人材養成講座(札幌会場)の検討・親子講座(千歳会場)の検討	・札幌会場に国際プラザより事務的連絡・千歳会場の内容(主にアフガニスタン親子)に対する内容、対応確認
9	平成25年11月21日12:00~17:30	5時間	SIL	島治美、木本みゆき、外山静江、西山順子、林真知子	俱知安会場の反省と課題に関して	俱知安会場(11月9分)の反省を各レベル別から出す。次回(11月16日分)の内容を確認
3	平成25年11月21日12:00~17:30	5.5時間	SIL	島治美、木本みゆき、外山静江、西山順子、林真知子、Petia 佐々木	俱知安会場の反省と課題に関して1	俱知安会場(11月16日分)の反省を各レベル別から出す。次回の内容確認
4	平成25年12月5日12:00~17:00	5時間	SIL	島治美、木本みゆき、外山静江、西山順子、林真知子、Petia 佐々木	俱知安会場の反省と課題に関して2	俱知安会場(11月30日分)の反省を各レベル別から出す。次回の内容を確認
5	平成25年12月21日13:00~17:00	4時間	SIL	島治美、木本みゆき、外山静江、西山順子、林真知子、Petia 佐々木	「親子で学ぼう日本語」の日程と参加人数を確認。	「親子で学ぼう日本語」の日程と参加人数確認。次年度の場所の確認への検討
6	平成26年1月16日13:00~17:30	4.5時間	SIL	中川和子、島治美、木本みゆき、西山順子、外山静江、林真知子	「親子で学ぼう日本語」の反省と課題	「親子で学ぼう日本語」(札幌会場)がすべて終了し、各担当者から反省を出し、次回の課題へとつなげる。

5. 日本語教室の実施

(1) 講座名称 「親子で学ぼう日本語 (生活の日本語)」札幌会場・千歳会場:「防災・傷病時の日本語」:俱知安会場

(2) 目的・目標 (札幌会場、千歳会場)国内在住の外国人の子供たちは、来日して半年たっても、言葉がわからなく小学校や中学校でも孤立しがちである。札幌市内でもボランティアが取り出し授業をしているが、長期の休みの時に、より集中的な日本語教室を設定し、親御さんにも地域と関わりを少しでも増やせるよう日本語を学んでもらう。そこで日本の生活習慣を踏まえての日常の日本語を指導し、よりよい生活環境を作ることを目指す。(倶知安会場)倶知安町は、泊原子力発電所から約30キロに位置し、福島のような事故が起きた場合には屋内退避や避難区域に指定される可能性もある地域である。そのような緊急時に際して事前に情報が得られていれば正しく判断し行動もできる。そのような緊急時の日本語を理解できるような指導もしたい。

(3) 対象者 札幌市内・千歳市内外国人親子; 倶知安町近辺の外国人生活者

(4) 開催時間数(回数) 104時間 (全 62回)

(5) 使用した教材・リソース 低学年は「日本語を学ぼう」「ひろ子さんの楽しい日本語」で語彙、ひらがなの学習を行った。また、また、絵教材、カードなどを使い交通ルールなど、日常生活において気をつけなければならない基本的知識を学習した。大人は初心者が主だったため「カリキュラム案」とオリジナル教

(6) 受講者の総数 54人

(出身・国籍別内訳) バングラデッシュ 2人、ポーランド 1人、フィリピン 2人、インドネシア 6人、中国 8人、ボリビア 2人、オーストラリア 7人、日本 4人、アフガニスタン 12人、ニュージーランド 2人、フィンランド 1人、スイス 1人、メキシコ 1人、フランス 1人、カナダ 1人、シンガポール 1人、イギリス 2人)

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1(1)	平成25年8月8日(木) 9:30~11:30	2時間	札幌市幌北小学校	1	バングラデッシュ(1人)	・自己紹介・簡単な日常会話	親:・初対面の挨拶方法を対面的に行う・簡単な日常会話(あいさつ、感謝表現等)	林 真知子	
2(1)	平成25年8月8日(木) 9:30~10:30	1時間	札幌市幌北小学校	4	ボリビア(2人)、バングラデッシュ(1人)、オーストラリア(1人)	・ひらがな・カタカナの習得 ①・簡単な日常会話	子:・ひらがな、カタカナの読み書き練習・簡単な日常会話(挨拶、感謝等)親:簡単な日常会話(断り等「いいえ、けっこうです」)	西山 順子	Petia 佐々木
3(1)	平成25年8月8日(木) 9:30~10:30	1時間	札幌市幌北小学校	1	オーストラリア(1人)	・ひらがな・カタカナの習得 ②・簡単な日常会話	子:・ひらがな、カタカナの読み書き練習②・会話(「～は～に興味がありません」)・挨拶	島 治美	
4(1)	平成25年8月8日(木) 10:30~11:30	1時間	札幌市幌北小学校	5	ボリビア(2人)、バングラデッシュ(1人)、オーストラリア(2人)	・簡単な日常会話③・マーク学習①	・子:簡単な日常会話を使い応用。カードを使ってのマークの見方、注意(交通「工事中」)親:簡単な日常会話(一日の生活「～時頃～を～」)	西山 順子	島 治美 Petia 佐々木
5(2)	平成25年8月9日(金) 9:30~11:30	2時間	札幌市幌北小学校	3	バングラデッシュ(1人)、中国(2人)	・生活上の日本語①	子:生活上に必要な会話親:場面で使う日本語の会話(往来:「～は～へ行きます/ 行きません」どこへ～)」	西山 順子	
6(2)	平成25年8月9日(金) 9:30~11:30	2時間	札幌市幌北小学校	5	ボリビア(2人)、バングラデッシュ(1人)、中国(2人)	・生活上の日本語②	子:生活上に必要な会話(「～てもいいですか」)親:場面で使う日本語の会話(病院等:「～が痛いです」)	木本 みゆき	吉越 みや子
7(2)	平成25年8月9日(金) 9:30~11:30	2時間	札幌市幌北小学校	3	オーストラリア(2人)、インドネシア(1人)	生活上の日本語③マーク学習②	子:生活上に必要な会話(往来、好きな物「～で～が一番好きです」)・カードを使ってのマークの見方、注意(乗り物で)親:場面で必要な日本語の会話(美容院等で)	島 治美	Petia 佐々木
8(3)	平成25年8月13日(火) 9:30~11:30	2時間	札幌市幌北小学校	4	インドネシア(2人)、中国(2人)	場面練習①	子:場面を設定し、必要な日本語会話を学ぶ(スーパーで:「～はいくらですか」)親:場面を設定し、困った時の対応の仕方(病院で)	西山 順子	
9(3)	平成25年8月13日(火) 9:30~10:30	1時間	札幌市幌北小学校	3	ボリビア(1人)、オーストラリア(1人)、インドネシア(1人)	場面練習②	子:場面を設定し、必要な日本語会話を学ぶ(往来:「～へ行きます」)親:場面を設定し、困った時の対応の仕方(買い物で「～はどこにありますか」)	林 真知子	
10(3)	平成25年8月13日(火) 9:30~10:30	1時間	札幌市幌北小学校	3	ボリビア(1人)、オーストラリア(1人)、中国(1人)	場面練習③	子:場面を設定し、必要な日本語を学ぶ(学校で)親:場面を設定し、困った時の対応の仕方(交通機関で:「どうやって～」)	吉越 みや子	

11(3)	平成25年8月13日(火) 9:30~10:30	1時間	札幌市幌北小学校	4	インドネシア(3人)、中国(1人)	場面練習④	子:場面を設定し、必要な日本語を学ぶ(乗り物機関で)親:場面を設定し、困った時の対応の仕方(日本人の家で)	Petia 佐々木	島 治美
12(3)	平成25年8月13日(火)10:30~11:30	1時間	札幌市幌北小学校	4	インドネシア(3人)、中国(1人)	場面練習⑤	子:家で(「～は～をしてくれる」)許可と禁止の言い方(「～でもいいです」「～てはいけません」)	島 治美	吉越 みや子
13(3)	平成25年8月13日(火) 10:30~11:30	1時間	札幌市幌北小学校	6	ボリビア(2人)、オーストラリア(2人)、インドネシア(1人)、中国(1人)	場面練習⑥ マーク学習③	子:場面を設定し、必要な日本語を学ぶ(地震の時「あぶない!」)・カードを使ってマークの見方、注意を学ぶ(エスカレーターで)親:場面を設定し、困った時の対応の仕方(地震時)	林 真知子	Petia 佐々木
14(4)	平成25年8月14日(水) 9:30~11:30	2時間	札幌市幌北小学校	4	インドネシア(2人)、中国(2人)	トピックと応用①	子:トピックを決めて、会話の練習(好きな食べ物、色、動物等「～が好きです」)親:トピック(子どものこと)で会話と指導	西山 順子	
15(4)	平成25年8月14日(水) 9:30~10:30	1時間	札幌市幌北小学校	3	ボリビア(1人)、オーストラリア(1人)、インドネシア(1人)	トピックと応用②	子:トピックを決めて、会話の練習(好きな食べ物、色、動物等)親:トピック(子どものこと)で会話と指導(「形容詞～です/じゃありません」)	林 真知子	
16(4)	平成25年8月14日(水) 9:30~10:30	1時間	札幌市幌北小学校	3	ボリビア(1人)、オーストラリア(1人)、中国(1人)	トピックと応用③	トピックを決めて、会話の練習(好きな食べ物、色、動物等)・形容詞の言い方のチェック	島 治美	
17(4)	平成25年8月14日(水) 9:30~10:30	1時間	札幌市幌北小学校	4	インドネシア(3人)、中国(1人)	トピックと応用④	子:トピックを決めて会話の練習(ゲームのこと)親:トピック(病気のこと:「どうしたんですか」)で会話と指導	Petia 佐々木	
18(4)	平成25年8月14日(水)10:30~11:30	1時間	札幌市幌北小学校	4	インドネシア(3人)、中国(1人)	トピックと応用⑤	子:トピックを決めて会話の練習(友だちのこと:「～は形容詞です」)親:トピック(旅行のこと)で会話と指導	島 治美	
19(4)	平成25年8月14日(水) 10:30~11:30	1時間	札幌市幌北小学校	6	ボリビア(2人)、オーストラリア(2人)、インドネシア(1人)、中国(1人)	トピックと応用⑥・マーク学習④	子:トピックを決めて会話の練習【自分の国のこと:「～は形容詞です」】親:トピック(国のこと)の会話と指導・マーク(火事、雪)の見方と注意	林 真知子	Petia 佐々木
20(5)	平成25年10月5日(土) 10:00~12:00	2時間	千歳市民文化センター	5	アフガニスタン(5人)	自己紹介の仕方	親・名前・国・仕事・家族の言い方、場所を聞く:「～はどこですか」買い物「これはいくらですか」	外山 静枝	
21(5)	平成25年10月5日(土) 10:00~12:00	2時間	千歳市民文化センター	2	アフガニスタン(2人)	・自己紹介・ひらがな、カタカナの学習①簡単な文型練習①	数(1~100)・絵教材を使い、ひらがな、カタカナの読みと書き練習・好きな物、嫌いなもの	西山 順子	
22(5)	平成25年10月5日(土) 10:00~12:00	2時間	千歳市民文化センター	2	アフガニスタン(2人)	ひらがな、カタカナ、語彙学②	・絵教材を使って単語単位で名前の読みと書き練習	木本 みゆき	
23(5)	平成25年10月5日(土) 10:00~12:00	2時間	千歳市民文化センター	3	日本(3人)	ひらがな、カタカナ、語彙学習③・簡単な文型練習③	・語彙の充実・日常会話①(挨拶等)の言い方	島 治美	
24(6)	平成25年10月10日(木) 16:00~17:30	1時間5	千歳市民文化センター	3	アフガニスタン(3人)	・簡単な文型練習④・トピック学習①	絵教材を使って、単語(食べ物、動物、色等)の読みと書き練習	外山 静枝	
25(6)	平成25年10月10日(木) 16:00~17:30	1時間5	千歳市民文化センター	3	アフガニスタン(3人)	簡単な文型練習⑤・トピック学習②	簡単な文型練習(「今、～時です」)・家族の呼称	西山 順子	

26(6)	平成25年10月10日(木) 16:00～17:30	1時間5	千歳市民文化センター	2	アフガニスタン(2人)	・挨拶・簡単な文型練習⑥	簡単な文型練習(～です)「これは何ですか」「～をください」	木本 みゆき	
27(6)	平成25年10月10日(木) 16:00～17:30	1時間5	千歳市民文化センター	3	日本(3人)	簡単な文型練習⑦・トピック学習④	自分の名前を言う・色、果物等の名前の言い方と書く練習・「～が好きですか」	林 真知子	
28(7)	平成25年10月17日(木) 16:00～17:30	1時間5	千歳市民文化センター	2	アフガニスタン(2人)	簡単な文型練習⑧・トピック学習⑤	トピックを決めて聞き、答える言い方(はい、いいえの言い方)	外山 静枝	
29(7)	平成25年10月17日(木) 16:00～17:30	1時間5	千歳市民文化センター	2	アフガニスタン(2人)	簡単な文型練習⑨トピック学習⑥	・助数詞の言い方・語彙の充実(身体部位の言葉「テ、脚、手、耳等」)	西山 順子	
30(7)	平成25年10月17日(木) 16:00～17:30	1時間5	千歳市民文化センター	2	アフガニスタン(2人)	簡単な文型練習⑩トピック学習⑦	トピックを決めて相手に聞く言い方の練習(「～は～好きですか」「はい、～」「いいえ、～すぎじゃありません」)	木本 みゆき	
31(7)	平成25年10月17日(木) 16:00～17:30	1時間5	千歳市民文化センター	3	日本(3人)	簡単な文型練習⑪トピック学習⑧	・日にちの言い方(今日、明日、昨日)・時間の言い方(「今、何時ですか」)	林 真知子	
32(8)	平成25年11月9日(土) 10:00～12:00	2時間	倶知安町サンスポーツランドくっちゃん	5	オーストラリア(2人)、ニュージーランド(1人)、フィンランド(1人)、中国(1人)	・自己紹介・場面練習・災害時に必要な語彙・言い方の学習	・自己紹介「AはBです」・挨拶・場面(飛行機中、コンビニ、レストラン等「～てください」)での言い方・災害(大雪、火事等:「あぶない」)時の言い方	西山 順子	
33(8)	平成25年11月9日(土) 10:00～12:00	2時間	倶知安町サンスポーツランドくっちゃん	6	オーストラリア(2人)、イギリス(1人)、ニュージーランド(1人)、スイス(1人)、メキシコ(1人)	・自己紹介の仕方・簡単な言い方(手段等)・災害時の言葉	・自己紹介・挨拶・災害時(地震、火事、大雨等「火事です」)の語彙と言い方・「これは～です」	林 真知子	
34(8)	平成25年11月9日(土)10:00～12:00	2時間	倶知安町サンスポーツランドくっちゃん	2	オーストラリア(1人)、イギリス(1人)	・自己紹介・トピック(災害時)会話	トピック(主に、大雨、地震等の災害時)の言葉・災害時に表現(「逃げてください」)	木本 みゆき	
35(9)	平成25年11月16日(土) 10:00～12:00	2時間	倶知安町サンスポーツランドくっちゃん	7	オーストラリア(2人)、ニュージーランド(1人)、フィンランド(1人)、中国(1人)、カナダ(1人)	・災害時の言い方、・日常会話(手段、依頼等)	災害時(主に事故、火事、地震時)の避難の言い方「にげて!」「～てください」「すみません、～はどこですか」・依頼等の日常会話の言い方「～ましようか」「お願いします」	島 治美	
36(9)	平成25年11月16日(土) 10:00～12:00	2時間	倶知安町サンスポーツランドくっちゃん	6	オーストラリア(2人)、ニュージーランド(1人)、スイス(1人)、メキシコ(1人)、フランス(1人)	・場面練習・災害時の語彙と言い方	・挨拶で会話練習・場面(コンビニ、レストランで「～てください」「これとこれ～」)の会話練習・助数詞・災害時の避難の言い方「火事だ!」	外山 静枝	
37(9)	平成25年11月16日(土) 10:00～12:00	2時間	倶知安町サンスポーツランドくっちゃん	2	オーストラリア(1人)、イギリス(1人)	トピック会話と指導	トピック(今年したこと、避難について)・安全カードの見方・救急の電話の仕方	木本 みゆき	
38(10)	平成25年11月30日(土) 10:00～12:00	2時間	倶知安町サンスポーツランドくっちゃん	3	オーストラリア(2人)、フィンランド(1人)	・病気表現・緊急時の対応の仕方	・病気の語彙・病気表現の言い方:「どうしましたか」「風邪です」救急の電話の仕方(119番です)	西山 順子	
39(10)	平成25年11月30日(土) 10:00～12:00	2時間	倶知安町サンスポーツランドくっちゃん	2	オーストラリア(1人)、ニュージーランド(1人)	・場面練習・病気表現・救急	・場所を尋ねる言い方:「～はどこですか」「ここ、そこ」・病気の語彙・病気表現の言い方「どうしましたか」・救急時の対応の仕方:電話番号の言い方	外山 静枝	
40(10)	平成25年11月30日(土) 10:00～12:00	2時間	倶知安町サンスポーツランドくっちゃん	2	オーストラリア(1人)、フランス(1人)	トピック会話・病気表現	・安全カードを書いてみる・電話の仕方(ロールプレイで)・病気表現と言葉(「～が痛いです」)	木本 みゆき	

41(11)	平成25年12月7日(土) 10:00~12:00	2時間	倶知安町サン スポーツランド くっちゃん	3	オーストラリア (1人)、ニュー ジーランド(1 人)、フィンラ ンド(1人)	・簡単な文型 練習・ごみ出 しルール	・カレンダーの見方・ごみ語彙とゴミ 出しルールに関する言い方:「～は 何曜日です」「～曜日～曜日までです」 「(形容詞)ないです」	島 治美	
42(11)	平成25年12月7日(土) 10:00~12:00	2時間	倶知安町サン スポーツランド くっちゃん	2	オーストラリア (1人)、フランス (1人)	トピック会話と 指導	トピック(主にごみ問題)に関して会 話・国でのゴミ事情・ニセコのごみ分 け(「～を分けます」)	木本 みゆき	
43(12)	平成25年12月 26日 10:00~12:00	2時間	札幌市白楊小 学校	1	フィリピン(1人)	自己紹介	自己紹介(名前、国、家族等)・「私 は～に～をあげました」「どうやって 来ましたか」「どのくらいかかります か」	外山 静枝	
44(12)	平成25年12月 26日 10:00~12:00	2時間	札幌市白楊小 学校	2	ボリビア(1人)、 日本(1人)	簡単な会話 ①	・ひらがな、カタカナの読みと書き・ 会話(自分の好きな食べ物等「～が 好きです」)の練習	木本 みゆき	
45(12)	平成25年12月 26日 10:00~12:00	2時間	札幌市白楊小 学校	2	ボリビア(1人)、 フィリピン(1人)	簡単な会話 ②	身近な語彙の名前を学ぶ・会話(家 族のこと「私の家族は～です」)の練 習	西山 順子	
46(13)	平成25年12月 27日 10:00~12:00	2時間	札幌市白楊小 学校	1	フィリピン(1人)	トピック会話 ①	トピック(家族のこと:「私のお母さん は～(形容詞)です」・地震のこと (「にげます」「避難します」)	木本 みゆき	
47(13)	平成25年12月 27日 10:00~12:00	2時間	札幌市白楊小 学校	2	ボリビア(1人)、 フィリピン(1人)	トピック会話 ②	トピック(国のこと:「(国)は形容詞で す」)についての話し方と指導	西山 順子	
48(14)	平成26年1月7 日 13:00~15:00	2時間	札幌市幌北小 学校	1	中国(1人)	生活上の会 話①	生活に必要な会話(挨拶、手段等) の練習と指導	外山 静枝	
49(14)	平成26年1月7 日 13:00~15:00	2時間	札幌市幌北小 学校	2	中国(2人)	語彙と簡単な 会話練習	・挨拶・数・「～は～です」・「～じゃあ りません」	西山 順子	
50(14)	平成26年1月7 日 13:00~15:00	2時間	札幌市幌北小 学校	3	ボリビア(2人)、 インドネシア(1 人)	・簡単な会話 練習・マナー の学習①	・場面(友だちの家等で)を設定し、 必要な会話の練習・マナー(食事時 「いただきます」「手を洗う」)を学ぶ	林 真知子	
51(15)	平成26年1月8 日 13:00~15:00	2時間	札幌市幌北小 学校	1	中国(1人)	生活上の会 話②	・生活に必要な会話(往来等「～へ 行きます」「どこへ～か」)の言い方と 練習	林 真知子	
52(15)	平成26年1月8 日 13:00~15:00	2時間	札幌市幌北小 学校	2	中国(2人)	生活上の会 話③	・会話練習(一日のこと:「起きます」 「寝ます」「勉強します」)の言い方・ 時間・カレンダー	西山 順子	
53(15)	平成26年1月8 日 13:00~15:00	2時間	札幌市幌北小 学校	3	ボリビア(2人)、 インドネシア(1 人)	トピック会話 ③・マナーの 学習②	・好きな物:「動物は何が好きですか」 「何年生/何歳ですか」・マナー(箸の 使い方)を学ぶ:「～てはいけません」	木本 みゆき	
54(16)	平成26年1月9 日 10:00~12:00	2時間	札幌市白楊小 学校	1	中国(1人)	生活上の会 話④	・難しい言葉の確認(商店、家族、水 族館、動物)	木本 みゆき	
55(16)	平成26年1月9 日 10:00~12:00	2時間	札幌市白楊小 学校	2	中国(2人)	生活上の会 話⑤マナーの 学習③	・会話(往来「行きます、来ます、帰 ります」)を言う・マナー(お友だちの 家へ行く:「おじゃまします」)	西山 順子	

56(16)	平成26年1月9日 10:00～12:00	2時間	札幌市白楊小学校	3	ボリビア(2人)、 ポーランド(1人)	トピック学習④	トピック(家族のこと)を決め、相手に紹介する(私の～は(形容詞))	林 真知子	
57(17)	平成26年1月10日 10:00～11:30	1時間5	札幌市白楊小学校	1	中国(1人)	生活上の会話⑥	・会話(友だちの家へ行く:「どうやって～」の言い方と練習)	林 真知子	
58(17)	平成26年1月10日 10:00～11:30	1時間5	札幌市白楊小学校	3	ボリビア(2人)、 ポーランド(1人)、	トピック学習⑤ ④ マナーの学習④	トピック(自分のこと)を決め相手に紹介する(私の趣味は～です)・病気の時のマナーマスクをする、手を口にあてる)	外山 静枝	
59(17)	平成26年1月10日 10:00～11:30	1時間5	札幌市白楊小学校	2	中国(2人)	生活上の日本語⑦	・会話(自分の一日のことを目的語を使って話す:「私は～を～」)	西山 順子	
60(18)	平成26年1月14日 10:00～11:30	1時間5	札幌市白楊小学校	1	中国(1人)	生活上の日本語⑧	・会話(病気表現「～が痛いです」「熱があります」)の言い方と練習	林 真知子	
61(18)	平成26年1月14日 10:00～11:30	1時間5	札幌市白楊小学校	3	ボリビア(2人)、 日本(1人)、	トピック学習	・トピック(自分の国のこと「～は～より～です」)を決め、相手に紹介する	島 治美	
62(18)	平成26年1月14日10:00～11:30	1時間5	札幌市白楊小学校	2	中国(2人)	生活上の日本語(生活に必要な会話(「～をあげる」「～をもらう」・疑問詞の復習(「なんで～」「どこで～」「だれと～」)	西山 順子	

(8) 受講者の募集方法 - 札幌市、教育委員会、旭川市、倶知安町などのサポートをいただき、市内小中学校、ボランティア団体への募集要項配布及び当校ウェブサイトへの掲載。又外国籍の児童のいる学校からの協力も大きかった。

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

日本在住が一年未満の児童は日本語の指導が主になったが、その中で生活のマナー、食事の仕方、友達の家に行った時、交通標識の意味理解なども加えた。日本語がわからない児童はふざけたり、親に訳してもらったり、説明してもらったりしており、レベルが違う子どもを対象に教えるのは大変難しい。



(10) 目標の達成状況・成果 「親子で学ぼう」に関しては札幌・千歳会場共に来日して間もない言語面で不自由し、学校生活の中で孤立しがちな子どもを対象に長期の休み期間に日本語でのサポートを行った。短期間ではあるが、次年度につながる成果をあげている。多国籍の子どもたちへの文化的な交流も不安定な気持ちでいる子どもたちへの情緒面での発達にも役立った。親に対しては、慣れない地での子育てや、生活上で不自由する言語面での手助けとなる活動ができた。また、倶知安会場では在住の外国人のために暮らしに関わる日本語を教えることで、特に今日的問題ともなっている防災・食の問題などを取り上げることで情緒面プラス日本での生活により順応できるようなサポートを行った。

(11) 改善点について 「親子で学ぼう日本語」に関しては、札幌・千歳会場共に冬期間は、子どもたちの参加人数が少なかったため、講座の開講期間の課題がある。また、親の講座への参加形態の工夫も必要だ。倶知安会場に関しては、参加外国人の職業がホテル・スキー場関係者であったため、スキー場オープンの際に減少という時期的な課題が残った。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称 あわてないで教えよう2013「札幌会場」「千歳会場」「倶知安会場」

(2) 目的・目標

札幌市内、後志支庁内、上川支庁内に在住している外国人に、暮らしにかかわる日本語(防災・食の問題・通院時の日本語など)を覚えてもらうための教え方の基本をともに学んでいきたい。

(3) 対象者 生活者としての外国人に対するボランティア活動を希求する一般市民、町民

(4) 開催時間数(回数) 33時間 (全 14回)

(5) 使用した教材・リソース

「みんなの日本語Ⅰ・Ⅱ」「やさしい日本語HP」(弘前大学
人文学部社会言語学室)・「やさしい日本語の手引き」(愛知県地域振興部国際
課多文化共生推進室)・多言語問診表(NPO法人国際交流ハーティ港南台公益
財団法人かながわ国際交流財団)・各自治体の生活・ごみガイド

(6) 受講者の総数 71人

(出身・国籍別内訳 日本 71人)

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年9月21日9:00~12:00	3時間	札幌国際プラザ会議室	24	日本	やさしい日本語指導の導入	・日本語ボランティアとしての意識・シンプルな日本語とは・何を使って教えるか	島 治美	木本 みゆき
2	平成25年9月28日9:00~12:00	3時間	札幌国際プラザ会議室	24	"	災害時のやさしい日本語と実践①	・情報(いつ・どこで・何が等)の読み取り方・避難時に使うやさしい日本語の言い方と活動	島 治美	木本 みゆき
3	平成25年10月5日13:00~16:00	3時間	千歳市民文化センター	18	"	やさしい日本語指導の導入	やさしい日本語とは・何を使って教えるか・やさしい日本語の具体例	木本 みゆき	島 治美
4	平成25年10月10日18:00~20:00	2時間	千歳市民文化センター	18	"	災害時のやさしい日本語と実践①	・災害時に使われる言葉・避難訓練時のやさしい日本語・活動	木本 みゆき	西山 順子
5	平成25年10月12日9:00~12:00	3時間	札幌国際プラザ会議室	23	"	病気表現の日本語	・病気の際の語彙、症状へのやさしい日本語の言い方・模擬による活動	木本 みゆき	外山 静枝
6	平成25年10月17日18:00~20:00	2時間	千歳市民文化センター	14	"	病気表現の日本語	病気の際に必要な語彙、症状の言い方をやさしい日本語で指導・実践	木本 みゆき	
7	平成25年10月19日13:00~16:00	3時間	旭川市国際交流センター	6	"	やさしい日本語の導入・病気表現	・やさしい日本語(余震、避難等の語彙の言いかえ)・病気表現のやさしい言い方	木本 みゆき	
8	平成25年10月24日18:00~20:00	2時間	千歳市民文化センター	17	"	環境(主にごみ問題)に関する日本語	身近な問題であるごみ問題に関するやさしい日本語の言い方・実践	島 治美	木本 みゆき
9	平成25年10月26日9:00~12:00	3時間	札幌国際プラザ会議室	21	"	ごみ問題、訪問の際の日本語	・ごみに関してのやさしい日本語の言い方と実践・日本人の家を訪問時の日本語の言い方	島 治美	木本 みゆき
10	平成25年11月2日13:00~16:00	3時間	旭川市国際交流センター	4	"	・地震時の言葉とやさしい日本語の言いかえ	・災害時に必要な語彙・避難所での言葉・水害時に日本語(ブレーカー、大雨等)	木本 みゆき	
11	平成25年11月9日13:00~14:30	1時間30分	倶知安町サンスポーツランドくっちゃん	10	"	・自己紹介・災害時の言葉と表現	・災害時の表現(「逃げて下さい」「急げ!」)・地震の際することの知識	島 治美	木本 みゆき
12	平成25年11月16日13:00~14:30	1時間30分	倶知安町サンスポーツランドくっちゃん	10	"	災害時のやさしい日本語	災害(主に火事、地震、大雨時)に使われる語彙・避難の際のやさしい日本語の言い方	木本 みゆき	
13	平成25年11月30日13:00~14:30	1時間30分	倶知安町サンスポーツランドくっちゃん	6	"	病気表現に関するやさしい日本語	・病気の際の語彙(食間)・ノロウイルスの予防法をグループで考える	木本 みゆき	
14	平成25年12月7日13:00~14:30	1時間30分	倶知安町サンスポーツランドくっちゃん	6	"	ごみ問題に関するやさしい日本語	・ごみに関する語彙(資源ごみ、燃やせるごみ等)ゴミの出し方をやさしい日本語で言う模擬	木本 みゆき	

(8) 受講者の募集方法 札幌市、千歳市及旭川市、倶知安町などのサポートで、道内各市町村への募集要項配布・両市内公共施設にても掲示配布 札幌市では国際プラザの共催をいただき、札幌市の広報誌に掲載。倶知安町では町広報誌にチラシを挿入し全所帯に配布。当校ウェブサイト掲載。旭川市内及び近郊日本語ボランティアグループにも配布

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

各会場2~4回という短い講座だったが、とても熱心に受講。特に講師が外国人役になっての日本語指導模擬体験は大変だったようだが、楽しめたようでもあった。毎回実際に外国人をゲストに迎えてこのような模擬体験をするが、意味のあるものとするためには外国人に対してしっかり指導もしなければならない。ボランティアさんは、大概外国人の理解を無視して話し続けることが多い。



(10) 目標の達成状況・成果 札幌会場はやさしい日本語に対する意識、外国人に接する際の注意はある程度喚起できた。参加人数が多かったため、グループごとへの指導となり、一人一人への細かい指導ができなかった。千歳会場では日本語でも外国人とコミュニケーションがとれ、教えることができるという意識は持ってもらえた。旭川会場は前回よりも参加者の層が広がり、興味を持ってもらえた実感を持てた。倶知安会場は、講座参加者募集等の自治体の協力が得られ、参加者間のネットワーク作りの一端を担えた。

(11) 改善点について 札幌会場はより多くの参加希望者が参加できるような対応(機会を増やす)と参加者一人一人の発言を増やすこと、実際に外国人と触れる機会を作ることなどが挙げられる。旭川会場は参加者をいかに増やし、回数をもっと増やすかである。倶知安会場は開催期間の再考と、外国人と実際に話せる機会を設けることなどが挙げられる。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称 「お弁当を作ろう」「チラシを読もう」

(2) 対象

日本語ボランティア、外国人生活者。対象たる外国人の日本語能力は初級後半～終了レベルを対象とする。母語は限定しない。

(3) 目的・目標

地域に溶け込む活動を日本人とともにするための日本語教材を作成し、日本語ボランティア、外国人生活者それぞれが有効利用できるようにする。日本人児童と同じようなお弁当を持たせたい、持って行きたいという親御さんと児童のために作り方のみならず、日本のお弁当にある栄養面の理解も盛り込んだ。又北国ならではの題材と視点でチラシを理解し地域活動に少しでも参加が出来るような教材を目指した。

(4) 構成・総ページ数 「お弁当を作ろう」「チラシを読もう」全 39ページ

(5) 教材作成会議の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年8月24日 13:00~18:00	5時間	SIL	島治美、木本みゆき、西山順子、林真知子	今年度の取り組みについての検討	今年度の目的としている「健康安全」、「地域とのかかわり」という観点から作成することを決定
2	平成25年9月26日 12:00~17:00	5時間	SIL	島治美、木本みゆき、外山静江、西山順子、林真知子	「親子でお弁当を作ろう」具体案への検討 1.	テキストに盛り込む具体的な項目を出し合う。主に「色取り」に観点を置く
3	平成25年12月12日 13:00~18:00	5時間	SIL	島治美、木本みゆき、林真知子	「親子でお弁当を作ろう」の見直し	全ページの確認と追加作業・実際に弁当を作り、写真撮影
4	平成25年12月19日 13:00~18:00	5時間	SIL	島治美、木本みゆき、外山静江、林真知子	「地域とのかかわり」具体案への検討 1.	各科の内容(回覧板、冬の暮らし、行事、カラスと熊対策)と構成に関して具体的に話し合う
5	平成26年1月30日 12:00~17:00	5時間	SIL	島治美、木本みゆき、外山静江、西山順子、林真知子	「地域とのかかわり」具体案への検討 2.	文字サイズ、表記、タスクや問題の取り上げ方等体裁について確認し合う
6	平成26年2月13日 12:00~16:30	4.5時間	SIL	島治美、木本みゆき、外山静江、西山順子、林真知子	「地域とのかかわり」総括	全体の見直しをし、各科のテキストに挿入するイラストに関する確認を行う

(6) 使い方

実際にお弁当をつくれるように手順を踏んだ内容で教材を作成しているの、日本のお弁当はどういうものか、何を用意するか、どうやって作るか、など教材をそのまま使用できる。又「チラシを読む」の教材もライト文もあるので、それを読みながら、全体的にどういう情報が書かれているのか、その情報の中でどういう言葉がポイントなのかなども理解できる。又、同じように外国人学習者が手に入れて、読みたいチラシも同じようなやり方で読んでいく方法もボランティアが学べる。

(7) 具体的な活用例

キッチン付の教室ならば、皆で教材の順序に沿って、買い物に出かけ、お弁当を完成させ、一緒に食事もできる。その過程で日本語を学び、戸外で楽しくお弁当を食べられればより良い。チラシの情報をとり、実際に町内会の行事に参加するとか、雪国で雪道の歩き方などを一緒に体験しながら、日本語も学習する。

(8) 成果物の添付 Word ファイル

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

外国人がそれぞれ地域の中で孤立しないような取り組みをすることを目的とした。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

この講座の千歳会場では、児童も親も日本語が全くわからず学校内の生活も手探り状態であった。学校生活・学科に関わらない内容を指導せよとのことだが、日本語がほとんどわからない子どもには学校生活と合わせて日本語を教えることが必須なのではないだろうか。そのような児童を抱える、地方の小学校の先生たちが一番行き詰っていたようだったが、ボランティア、教師、公的機関がこの講座を通じて地域の外国人にどう対応をすればいいのか、その糸口をつかんでもらえたようであった。これからも毎週でも継続してほしいとのアンケート、講座終了時のコメントにあった。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

日本語学習者は全くの日本語初心者だったためカリキュラム案の活用は難しかった。カリキュラム案は、あるレベル以上の学習者にしか使用できないものなので、もう少しレベルを下げた内容案もあればいいと思われる。初級後半の外国人にはカリキュラム案や自治体で発行している災害時用プリントなどを使用した。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

今年度は当取り組みも札幌近郊では認知され、自治体、公共団体のサポートがしっかりと得られるようになった。講座にもオプザーバーとして出席してもらい、又事業の後には一緒にフィードバック、もしくは次回へつなげるための問題点などを報告してもらった。

(5) 改善点、今後の課題について

外国人支援は単発の事業では効果が薄いと思われる。当該事業の短期間の講座のみならず、地域での全体的なサポートとなるような資金面の補助も継続してあればより効果的だと考えられる。3つの取組を通しての課題や改善点について地域。

(6) その他参考資料

講座評価についてアンケート回答より

・ 講座の日程などについて半数以上の回答は「少ない」で残りの回答数は「ちょうどよい」である。

・ 講座内容の

○ 「日本語の基礎について」 構文、丁寧度など

○ やさしい日本語

○ 病気の時の日本語

○ 「緊急時の対処の仕方を考える」 ・地震 ・豪雨

○ 訪問時のマナー

ほぼ全員が上記の項目について満足している。

・ 今後も、文化庁日本語教育事業の講座に参加をほぼ全員が希望でいる。

2013 Japanese Language Education Program for "Foreigner as Residents in Japan"
supported by Agency for Cultural Affairs, MEXT

「Let's study Japanese — Useful Japanese at disaster situations and hospital visits」

Japanese Language will be taught at beginner and elementary levels and we will also help with understanding better Japanese manners and daily Japanese. At the same time, Japanese language used in disaster situations and the emergency events (i.e. visiting hospital) will be taught and an explanation in Japanese on what to do during earthquakes or other natural disasters will be given.

Who should attend: Foreign national residents in Asahikawa City, Kutchan Town and Hokkaido
and who want to learn Japanese (high school students and over)

Period: Asahikawa: October 19; November 2 Time: 10:30~12:30 am (2 times)
Kutchan: November 9,16,30; December 7 Time: 10:00~12:00 am (4 times)

Place: Asahikawa International Center (Asahikawa 1-jo-dori, 8-chome Feeeel 7Fl.)
Kutchan: San Sports Land Kutchan (Kutchan town, **Kabayama 41-5**)

Class Fee: Free (except charge for copied materials and optional volunteer insurance subscription)

Capacity: About 15

Organized: SIL Sapporo Nihongo Gakko, (Co-organizer) Sapporo International
Communication Plaza Foundation

Supporters: Sapporo City, Sapporo Board of Education, Asahikawa City, Kutchan Town,
Hokkai-Gakuen University, Hokkaido Bunkyo University, NPO Global Human
Innovation



★Application Contact:

SIL Sapporo Nihongo Gakko Tel•Fax 011-614-1101

E-mail: info@silnihongo.com

<Mailing Address>060-0062 1F, Bell Idai Mae 291, Minami 2 Nishi 18, Chuo-ku, Sapporo-shi

Application Form

(「2013 Let's study Japanese — Useful Japanese at disaster situations and hospital visits」)

Name: _____

(Date of Birth: _____) (Male • Female)

Address: _____

Citizenship: _____

Date of Arrival: _____

Place of Employment: _____

or

School Name and Grade: _____

Contact: *Tel:* _____

Mobile: _____

Fax: _____

E-mail: _____

(Please, fill in all fields as they are needed in order to make a contact)

Japanese language learning history, if any:

Year/s months

(•Volunteer Class •Self study •Hiragana •Katakana •Kanji)

Other(_____)

文化庁 平成 25 年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

「親子で学ぼう日本語（生活の日本語）」札幌会場

外国人の子どもたちとそこのご父兄のための日本語指導

子どもさんとは、毎日の日本語や日本のマナーを、お父さんやお母さんのクラスでは病気の時や地震などの時に使う日本語を勉強します。

受講対象者 札幌会場:札幌市内・道内在住の日本語学習を希望する親子(子ども:5歳~高校生まで)

期 間 夏期: 平成 25 年 8 月 8、9、13、14 日 9:30~11:30am 4 回

冬期: 平成 25 年 12 月 26 日~平成 26 年 1 月 19 日
9:30~11:30am 8 回予定

会 場 通学小中学校近辺 まちづくりセンターなど

受 講 料 無 料 (教材コピー代 別途 ・ 保険:ボランティア保険 任意加入)

定 員 札幌会場:親子 10組 程度

後援予定 札幌市・札幌市教育委員会・(公財)札幌国際フラザ・北海道・旭川市・倶知安町



★ 申し込み連絡先: SIL札幌日本語学校 電話・Fax 011-614-1101

〒060-0062 札幌市中央区南2条西18丁目291 ベル医大前1F

もうしこみしょ

「^{ねんおやこ}2013年親子で^{まな}学ぼう^{にほんご}日本語(生活の日本語)」

なまえ(親): _____

なまえ(子ども): _____

しょうわ へいせい ねん がつ にちうまれ おとこ おんな
(昭和/平成 年 月 日生) (男・女)

へいせい ねん がつ にちうまれ おとこ おんな
(平成 年 月 日生) (男・女)

じゅう しょ
住 所: _____

こくせき おや
国籍(親): _____

こくせき こ
国籍(子ども): _____

らいにちねんげつ おや
来日年月(親): _____

らいにちねんげつ こ
来日年月(子ども): _____

きんむさき
勤務先: _____

がっこうめい がくねん
学校名・学年: _____

れんらくさき
連絡先: Tel: _____

けいたいでんわ
携帯電話: _____

Fax: _____

E-mail: _____

(連絡時に使用しますので、もれなくご記入ください。)

にほんご べんきょう
日本語の勉強はどのくらいしましたか。

おや ねん
(親) 年から

こ ねん
(子ども) 年から

(ボランティアクラス ・ ^{ひとり}一人で)

(ひらがな ・ カタカナ ・ ^{かんじ}漢字)

その他: _____

その他: _____

地域日本語教育実践プログラム

北海道における日本語教育推進プロジェクトー地域多文化共生を目指して

日本語ボランティア養成講座 「あわてないで教えよう2013」

近隣に在住している外国人に、暮らしに関わる日本語（防災・食の問題・医療など）
を覚えてもらうために、ボランティアとして日本語の教え方の基本を学びます。

千歳会場（全4回）

講座の内容は毎回違います。全回の受講を基本としています。

日 時

① 10月 5日（土） 13:00～16:00 千歳市民文化センター3F視聴覚室

※13時00分から14時30分は 北海学園大学人文学部
中川 かず子 教授による講演を開催いたします。

演題～『生活者としての外国人』への接し方：日本語を使って
中川教授の専門～日本語教育学、外国における日本語研究
日本語教授法・教材の研究



② 10月10日（木） 18:00～20:00 千歳市民文化センター3F中会議室2

③ 10月17日（木） 18:00～20:00 千歳市民文化センター4F小会議室1

④ 10月24日（木） 18:00～20:00 千歳市民文化センター3F視聴覚室

受講対象者： 外国人への日本語指導に関心のある方
定 員： 20名程度（先着順）
受 講 料： 無料
主 催： SIL札幌日本語学校

★ 申し込みは「受講申込書」にご記入後、郵送もしくはFaxにて次の宛先までお申込みください。
なお、ご記入いただいた個人情報に関しては、この講座のみに利用いたします。

<郵送宛先> 〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34
千歳市役所 市民協働推進課 国際交流係

<問合せ先> 電話：0123-24-0482 Fax：0123-22-8852
E-mail：kokusai@city.chitose.hokkaido.jp

平成 25 年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

日本語ボランティア養成講座「あわてないで教えよう2013」

受講申込書

氏 名：

(昭和/平成 年 月 日生 歳) (男・女)

住 所：

連絡先：TEL・FAX 携帯電話

E-mail 携帯 E-mail

現・退職時の勤務先：

【日本語ボランティア歴がある方はお書きください】
所属先 (なし・あり →名称：)

420 時間養成講座修了年 (平成 年) ・ 日本語教育能力検定試験合格年 (平成 年)

経験年数 (3 年未満 ・ 3 年～10 年 ・ 10 年以上)

経験回数 (10 回未満・10 回～19 回・20 回以上)

主たるボランティア活動 (日本語指導 ・ 生活指導 ・ その他)

対象者の出身国 (中国 ・ ロシア ・ 欧米 ・ その他)

【今回の講座にて、特に学んでみたい内容】

日本語指導

生活指導

地域日本語教育実践プログラム

北海道における日本語教育推進プロジェクトー地域多文化共生を目指して

日本語ボランティア養成講座
「あわてないで教えよう2013」



近隣に在住している外国人に対して、暮らしに関わる日本語（防災・食の問題・医療など）を覚えてもらうために、ボランティアとして日本語の教え方の基本を学びます。

＝ 札幌 ＝

- ① 9月21日(土) ② 9月28日(土)
- ③ 10月12日(土) ④ 10月26日(土)
- (いずれも9:00~12:00 全4回)
- 会場：札幌国際プラザ会議室
(札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル3階)

＝ 旭川 ＝

- ① 9月14日(土) ② 10月5日(土)
- ③ 10月19日(土) ④ 11月2日(土)
- (いずれも13:00~16:00 全4回)
- 会場：旭川市国際交流センター
(旭川市1条通8丁目 フィール旭川7階)

＝ 倶知安 ＝

- ① 11月9日(土) ② 11月16日(土)
- ③ 11月30日(土) ④ 12月7日(土)
- (いずれも13:30~15:00 全4回)
- 会場：サンスポーツランドくっちゃん
(倶知安町字樺山41番地5)



受講対象者：道内在住の日本語ボランティア希望者

定員：各会場 15名程度 (先着順)

受講料：無料

主催：SIL札幌日本語学校 共催：(公財)札幌国際プラザ

後援：札幌市・札幌市教育委員会・旭川市・倶知安町・北海学園大学・北海道文教大学・NPO グローバルヒューマンイノベーション協会

★ 申し込みは「受講申込書」にご記入後、郵送もしくはFaxにて次の宛先までお申込みください。
なお、ご記入いただいた個人情報に関しては、この講座のみに利用いたします。

<郵送宛先> 〒060-0062 札幌市中央区南2条西18丁目291 ベル医大前1F



<問合せ先> 電話・Fax：011-614-1101 E-mail：info@silnihongo.com

平成 25 年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

日本語ボランティア養成講座「あわてないで教えよう2013」

受講申込書 (札幌・旭川・倶知安)

*希望会場に○を付けてください

氏名：_____

(昭和/平成 年 月 日生) (男・女)

住所：_____

連絡先：TEL・FAX _____ 携帯電話 _____

E-mail _____ 携帯 E-mail _____

現・退職時の勤務先：_____

【日本語ボランティア歴がある方はお書きください】

所属先 (なし・あり →名称：_____)

420時間養成講座修了年 (平成 年) ・ 日本語教育能力検定試験合格年 (平成 年)

経験年数 (3年未満 ・ 3年~10年 ・ 10年以上)

経験回数 (10回未満・10回~19回・20回以上)

主たるボランティア活動 (日本語指導 ・ 生活指導 ・ その他 _____)

対象者の出身国 (中国 ・ ロシア ・ 欧米 ・ その他 _____)

【今回の講座にて、特に学んでみたい内容】

日本語指導 _____

生活指導 _____

